

(事業者向け) 放課後等デイサービス自己評価表 【集計結果】

〇〇〇事業所

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	備考
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			床面積でいうと定員に対して少し余裕があると思う。指導訓練室が真ん中で仕切れるようになっていたので用途が広げやすかった。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			配置数を満たし、それ以上に指導員が2人多くいたことで余裕を持って子どもに接することが出来た。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		室内に置いてはフラットな作りになっているが部屋が2階にあるため階段である必要があり、バリアフリーの配慮がなされているとは言い難い。
業務改善	4	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			月の始めのミーティング学期毎の個々による振り返りだけでなく空き時間を利用してのPDCAサイクルには職員全体で取り組んでいる。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			設立1年目アンケートを実施してまだまだこれからも評価表を活用して業務改善を心掛けていきたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		○		まだ1年目の為、自己評価の結果は掲載予定中
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		開設してやっと1年経ったばかりなので評価結果を業務改善に繋げているとはいえないがそのつもりで進めていく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			外部研修があればできるだけ交替で参加出来るように心がけている。 月に一度勉強会を設け職員の資質向上に努めている
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			初回面接時におけるアセスメントで情報収集を図り、その情報を整理し保護者のニーズ、子どもの課題を抽出し、サービス計画を作成している。
適切な 支援の 提供	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		子どもの行動、言動を見ながら心理士による専門的な立場から発達検査等を行っている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			リーダー的な存在を日ごとに決める所からチームで話し合い活動プログラムを立てている。チームで話し合いながら決めることによって各々が活動をねらいを把握できていると思う
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			飽きない工夫、バリエーションを加えながら工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			1日という長い時間の時、又は長期休暇などは普段できない課題など取り入れている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			場面、場面に依りて個別活動だったり集団活動だったりを組み合わせている。
	15	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		朝礼の時間を使って打ち合わせているが、時間的にもう少しほしい。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		毎回の打ち合わせがなかなかできず、時間を上手く捻出する必要がある。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日記録している。その記録を又次の支援につなげるようにしたい。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			モニタリングは定期的に行っている。計画の見直しは全体で行っていきたい。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか		○		

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	備考
関係機関 や保護者 との連携 関係	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		担当者会議に直接精通した者が出席できていない。参画を促したい。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			常に迎えに行った時など情報交換を行っている。常日頃からコミュニケーションをはかるようにしている。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		まだそういった子の受け入れはないが連絡体制を整えていきたいと思う。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			受け入れ後すぐに在籍していた保育園、幼稚園などと連絡を取り話し合っている。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			連携とまではいわないが機会があれば参加するようにしている。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			児童クラブは同じ系列なので機会があれば交流したいと考えている。 ・遠足、ドッジボール大会などはしたが他にもなにか企画したい。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			会があれば積極的に参加している。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			日頃は連絡帳を通してだったり、直接会えれば口頭で状況を伝えるようにしている。
保護者への 説明責任等	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		これから行っていきたいと考えている。
	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約の時は、きちんとひとつずつ説明し、質問に答えるようにしている。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			必要があれば都合を合わせて直接話すように努めている。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			これまで苦情らしい苦情はないが、あればすぐに対応できるような態勢をとっている。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		これまでの1年間は活動表は毎月保護者に渡してきたが年間の行事予定も渡す。
	35 個人情報に十分注意しているか	○			職員にも徹底するようにしている。
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		○		
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	備考
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			職員にもすぐに目を通せる場所にマニュアルをおいて周知するようにしている。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年間計画の中に入れて定期的に訓練を行っている。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○		虐待防止マニュアルは作成しているが、研修の機会を設けたい。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		契約時に保護者に対してはきちんと説明しているが計画には記載していない。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			対応できる体制にはなっているが実際アレルギーの子がいない。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		

職員から提出された、放課後等デイサービス自己評価表のチェック項目ごとに、はい、どちらともいえない、いいえ を集計して提出してください。
特記事項があれば、備考欄に記入してください。